



BUSINESS



国内損害保険事業		
商品・サービス名称	概要	
地方自治体向けに業界初の「防災・減災サービス」を開発	損保ジャパンでは、地方自治体の避難指示などの発令に伴う費用負担を軽減し、国が進める早期避難指示を後押しする保険と、気象情報や対応策の情報を提供することで、地方自治体の迅速な初動体制の構築を支援するサービスを開発しました。	11.b 災害レジリエントな街づくり
ドローンを活用した災害対応	損保ジャパンでは、事故や災害発生直後に迅速かつ的確に被害状況を把握し、より迅速な保険金のお支払いを目的として、保険業界で最も早くからドローンの運用体制を整備し活用しています。	8.10 保険・金融サービスへのアクセシビリティ
【業界初】「LINE」を活用した事故受付・事故対応サービス	損保ジャパンは「LINE」を活用した事故受付・事故対応サービスを2018年10月から開始し、海外旅行保険のほか、自動車保険・火災新種保険・傷害保険にも展開しています。	8.10 保険・金融サービスへのアクセシビリティ
企業・地方公共団体向けの事業継続および防災・減災に関わる支援	SOMPOリスクマネジメントでは、地域防災計画や国民保護計画の実効性を高めるための改訂、BCPや受援計画の策定・改訂、震災の対応や教訓を後世に残す記録誌の作成、実効性の高いBCPを策定するための研修、住民を含めた地域防災力向上に向けた各種検討会の運営などを通じて、災害や危機に強いまちづくりをサポートしています。	11.b 災害レジリエントな街づくり
企業の海外事業展開におけるリスク対策	SOMPOリスクマネジメントでは、海外進出企業のリスクマネジメント活動を支援するため、「海外リスクコンサルティングサービス」を提供しています。	9.b 開発途上国の技術開発、研究、イノベーションの支援
食品リスク総合コンサルティング	SOMPOリスクマネジメントは、食品事業に係るコア・リスク対策などのコンサルティングならびに教育・訓練などを「食品リスク総合コンサルティング」として提供しています。	2.1 飢餓の撲滅
高齢のお客さまにやさしい「あんしんサポート」サービスの提供	損保ジャパンパートナーズは、高齢のお客さまにより一層の安心をお届けするため、独自に開発した「あんしんサポート」サービスを提供しています。	8.10 保険・金融サービスへのアクセシビリティ
事故対応における、お客さま満足度向上への取り組み	損保ジャパンでは、真にお客さまが求める高品質のサービスを提供するため、迅速な保険金のお支払いや一人ひとりのお客さまのニーズに即した付加価値の提供に取り組んでいます。	8.10 保険・金融サービスへのアクセシビリティ
多様なお客さまに配慮したサービスの提供	損保ジャパンでは、株式会社プラスヴォイス提供の「電話リレーサービス」を活用した手話通訳による事故受付を実施しています。セゾン自動車火災では、お客さま向けの一部の郵送物に「音声コード Uni-Voice (ユニボイス)」を導入し、郵送物の内容やお問い合わせ先等を音声でご案内するサービスを提供しています。	10.2 すべての人々の不平等を正す
お客さま本位の業務運営方針	損保ジャパンは、SOMPOグループの経営理念に基づき、あらゆるお客さま接点において、徹底したお客さま視点に基づくお客さま本位の業務運営を実現するとともに、すべてのステークホルダーに対して企業としての社会的責任を果たすべく、「お客さま本位の業務運営方針」を定めています。	8.10 保険・金融サービスへのアクセシビリティ
紙使用量削減に向けた取り組み	損保ジャパンでは、帳票作成の合理化や電子化など、余剰印刷物を発生させない運営体制を構築しています。セゾン自動車火災では、「デジタル保険証券」を導入するとともに、これまで紙で送付していた普通保険約款・特約集、おとなの自動車保険サポートブックを電子ファイルにて提供しています。	13.3 気候変動の適応・緩和に対する啓発
大規模災害 被災地支援の取り組み	当社グループは、被災された方々の支援および被災地の復興に向けて、変化する現地のニーズに合わせ、さまざまな角度から復興支援に取り組んできました。	11.b 災害レジリエントな街づくり
インドネシアでの交通安全プロジェクト	損保ジャパンはPT Sompo Insurance Indonesiaと連携し、(公社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと協働で、インドネシアの交通安全事業に取り組んでいます。	3.6 道路交通事故死傷者の削減
防災教育の普及啓発「防災ジャパンプロジェクト」	損保ジャパンは、災害から身を守るための知識や安全な行動を学んでもらうことを目的として「防災人形劇」および「体験型防災ワークショップ」を実施しています。	11.b 災害レジリエントな街づくり
SAVE JAPANプロジェクト	損保ジャパンでは、NPOなどとの協働を通じて、市民の皆さまに身近な自然環境に関心を持っていただく機会を提供する取り組みを行っています。	14.1 海洋汚染の防止・削減
社員食堂にて「サステナブル・コーヒー」の販売	新宿本社ビル内の社員食堂において、レインフォレスト・アライアンスの認証を受けた農園で生産されたコーヒー豆を使用した「サステナブル・コーヒー」の提供を行っています。	12.1 持続可能な消費と生産

海外保険事業		
商品・サービス名称	概要	
中国における取引先への防災関連サービス無償提供開始	当社グループの「日本財産保険(中国)有限公司」は、中国の保険会社として初めて、取引先企業に対して防災関連サービスの無償提供を行っています。	11.b 災害レジリエントな街づくり
インドでマイクロインシュアランスを提供	グループのインド現地法人であるUniversal SOMPO General Insurance (USGI)は、融資返済能力や医療・健康への備えに乏しいlower income groupに対する、マイクロインシュアランス(小規模保険サービス)を提供しています。	3.3 伝染病や感染症の根絶・対処
国内生命保険事業		
商品・サービス名称	概要	
LINEを活用した給付金請求受付サービスの開始	SOMPOひまわり生命は、お客さまの利便性向上を目的に、業界初のLINEを活用した給付金請求受付サービスを2020年3月30日より開始しました。	8.10 保険・金融サービスへのアクセシビリティ
健康サービスブランド「リンククロス」	SOMPOひまわり生命は、健康サービスブランド「リンククロス」を立ち上げました。「リンククロス」は、お客さまに心地よく、楽しく、健康を維持していただくことをコンセプトとして、健康を軸とした革新的な商品や、アプリを中心とした健康関連サービスを展開していきます。	3.4 精神保健と福祉の促進
介護・シニア事業		
商品・サービス名称	概要	
健康寿命延伸プロジェクト「仕事付き高齢者向け住宅 SOMPOケアラヴィーレ多摩川」実証の実施	SOMPOケアは 株式会社TOKIMEKU JAPANと提携し、当社が運営する介護付きホームのご利用者に有償の就労機会を提供する取組みを実施しています。	3.4 精神保健と福祉の促進
介護サービスの品質向上に向けた取組み	SOMPOケアは、この人材の需給ギャップを解消するために2019年10月に介護職の処遇改善を実施しました。また社員が働きやすく、存分に活躍できる体制を構築するため、処遇改善に加え、職場環境の改善や人材育成、人事制度の整備等にも、注力しています。	8.5 雇用均等および同一労働同一賃金
財団を通じた社会課題解決の取組み		
商品・サービス名称	概要	
(公財)SOMPO美術財団(SOMPO美術館)	1976年に社会貢献の一環で開館し、アジアで唯一ゴッホの「ひまわり」を鑑賞できる美術館として、これまで600万人を超えるお客さまにご来館いただいています。	4.7 持続可能な開発促進のための教育
人形劇場「ひまわりホール」	損保ジャパンは1989年に開設した名古屋ビルの人形劇場「ひまわりホール」を地元の人形劇関係者を中心として設立されたNPO法人愛知人形劇センターと共同で運営しています。	4.7 持続可能な開発促進のための教育
社会福祉の「活動と研究」を支える～(公財)SOMPO福祉財団～	1977年に設立された公益財団法人SOMPO福祉財団は、社会福祉分野のNPO/NGOへの助成や、社会福祉・社会保障・保険・ジェロントロジー(老年学)に関する研究会の開催や研究助成、社会福祉の分野における優れた学術文献の表彰などの事業を通じて、社会福祉の発展と向上を目指しています。	3.4 精神保健と福祉の促進
環境分野の人材育成～(公財)SOMPO環境財団～	SOMPO環境財団では、「木を植える「人」を育てる」という理念のもと、環境分野で活躍する人材の育成支援、環境保全に関する活動・研究支援や環境教育などの振興を通して、地球環境保全に貢献することを目指しています。	13.3 気候変動の適応・緩和に対する啓発
認可保育園「SOMPOスマイルキッズ江戸川橋保育園」	2011年設立の一般財団法人SOMPOスマイルキッズは、東京都文京区の当社ビル1階フロアを活用し、認可保育園「SOMPOスマイルキッズ江戸川橋保育園」を運営しています。	8.8 安全・安心な労働環境の促進

※各取組みと関係の最も強いSDGsターゲットを表記しており、取組みの進展や社会課題の変化に応じて継続的に見直しを行います。